

7. 視覚障害者が読みたい本を読めるように

グループ名	グループ・ブライユ
代表者	志子田 和子

①活動の目的

視覚障害者の方が、読みたい本を読めるように、少しでもお手伝いできればと活動しております。

1992年に、朝日カルチャーセンター千葉の点字教室の修了生がグループを結成し、以来千葉市の点字教室の修了者も加入し、22年継続しています。この間、手打ち、タイプからパソコン点訳と社会の流れとともに歩んできました。パソコン点訳に変わって、点訳する時間は早くなりましたが、プリントアウトするためのプリンターが約100万円と高価でグループで持つことが不可能のため、千葉市療育センター内のふれあいの家にあるプリンターを使って印刷しております。

ただ、プリンターは寄贈品もあって、3台になりましたが、ふれあいの家のパソコンが1台しかなく、私物のデータ入力用パソコンを使うしか方法がありませんでした。

2011年、中途失明者の会(よみ点会)の依頼を受けるようになり、部数の多い点訳依頼が増えて、1冊の本が全員に渡るのに6か月もかかってしまった事もありました。

折角のプリンターが眠っているような状態でした。

貴財団からのご厚意でプリンターに常時接続できるパソコンを購入する事ができまして、プリントアウトが非常に早くできるようになりました。

新しいパソコンのお蔭で、DAISYからのテープ起こしをして、視覚障害者のための『献立表』の作成もできました。

②活動概要

私達の点訳活動は、千葉県立千葉盲学校、筑波大学附属視覚特別支援学校、個人依頼と多岐に渡っておりますが、お届けできる本は限られています。

本年度、貴財団からの助成金で購入したパソコンを使ってプリントアウトした点訳本を記載いたします。

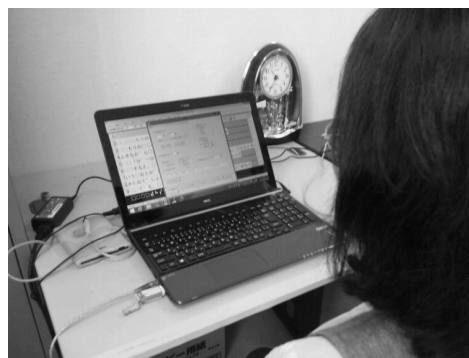
点字を読む練習をしている方々に点字本を少しでも早くお渡しできるように、そして、これからも沢山の本をお届けできるように努力してまいります。

本当にありがとうございました。

【活動の様子】



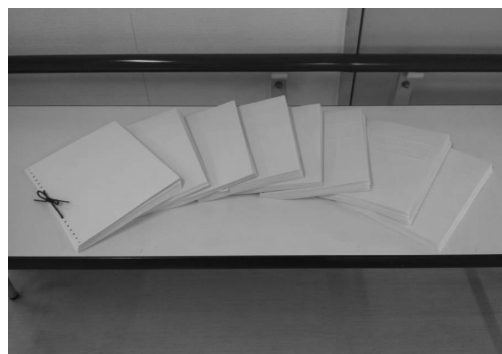
3台のプリンターで作業中
(「ふれあいの家」点訳室にて)



助成金で購入したパソコンでの印刷作業



完成した点訳本の一部



点訳カレンダー

製作点訳本一覧

(2013年11月～2014年9月)

書名	巻数	印刷部数	完成月
峠うどん(上)	4	1	11月
峠うどん(下)	4	1	〃
遠き落日(上)	6	1	〃
遠き落日(下)	6	1	〃
新聞コラム	1	24	〃
カレンダー	1	34	12月
新聞コラム	1	24	〃
人はみな、けなげに生きている	2	1	2014/1月
歌詞(カラオケ用)	1	10	1月
新聞コラム	1	24	〃

天切り松闇がたり第一巻	5	1	2月
ぼくらの祖国	3	1	〃
新聞コラム	1	24	〃
アルファベット一覧	1	10	〃
適当川柳	1	1	3月
ヌマ叔母さん	1	1	〃
時代の証言（新聞コラム）	1	13	〃
高校美術1	2	4	4月
ひとりだち・自立生活ハンドブック	1	1	〃
汚れちまった道	8	2	〃
カーネルサンダースの教え	3	2	〃
詩集「くじけないで」抜粋	1	5	〃
流行語マナー	1	12	〃
新聞コラム	1	24	〃
萩殺人事件	4	1	5月
ハリーポッターと賢者の石	7	1	〃
詩集「青春」	1	4	〃
天切り松闇がたり第二巻	4	1	6月
百歳	1	1	〃
平城京に暮らす人々	4	1	7月
走れメロス	1	5	〃
銀河鉄道の夜	1	1	〃
ありのフェルダ	1	10	7月
空が青いから白をえらびました	1	1	〃
時代の証言者（新聞コラム）	1	13	〃
点字一覧表	1	15	〃
英語テキスト	1	1	各月
こころのふしぎ	2	1	8月
裏庭	4	1	9月
子ども（上）	1	1	〃
子ども（下）	1	1	〃
計		281部	

③決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
	自己資金	9,800
収入計		109,800
支出	パソコン 1台 NEC PC-LS15NSR	109,800
支出計		109,800

安価かつ点字タイプライター同様6点打ち（複数キーの同時入力を認識）可能なコンピューターとして、当時一世代前となっていた上記製品を選択、助成金100,000円を充て、不足分の9,800円を自己資金にて負担いたしました。

以上